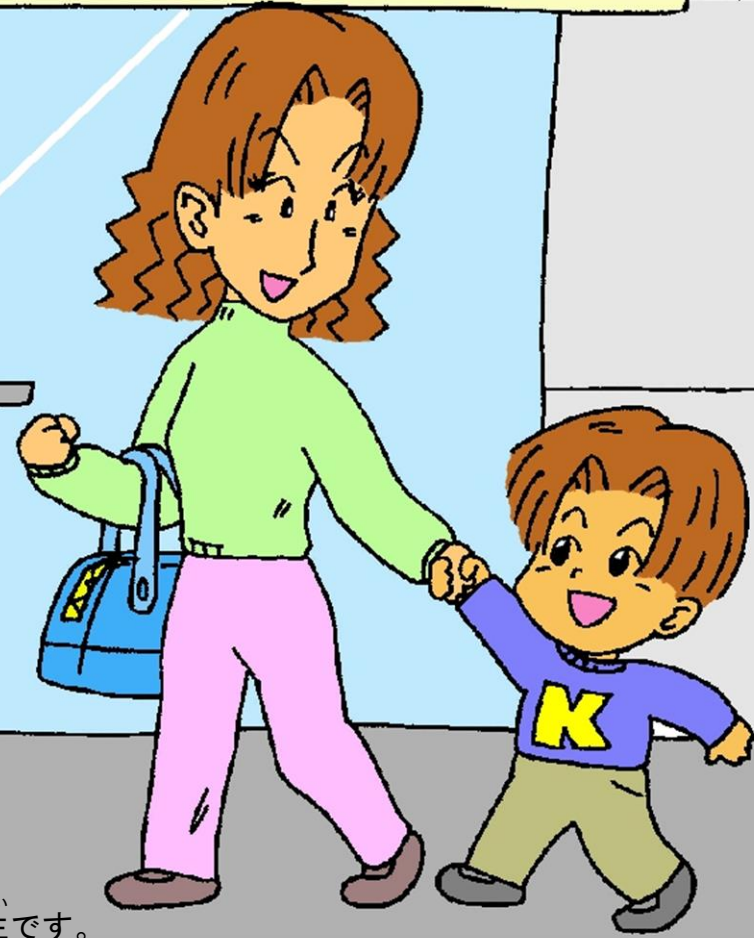


スーパー

よいこの
おちんちん



けいちゃんしょうがっこう1ねんせいは、小学校1年生です。
今からかあお母さんといっしょ一緒におか買いものいのに行くところです。

みせ つ
お店に着いたけいちゃん。

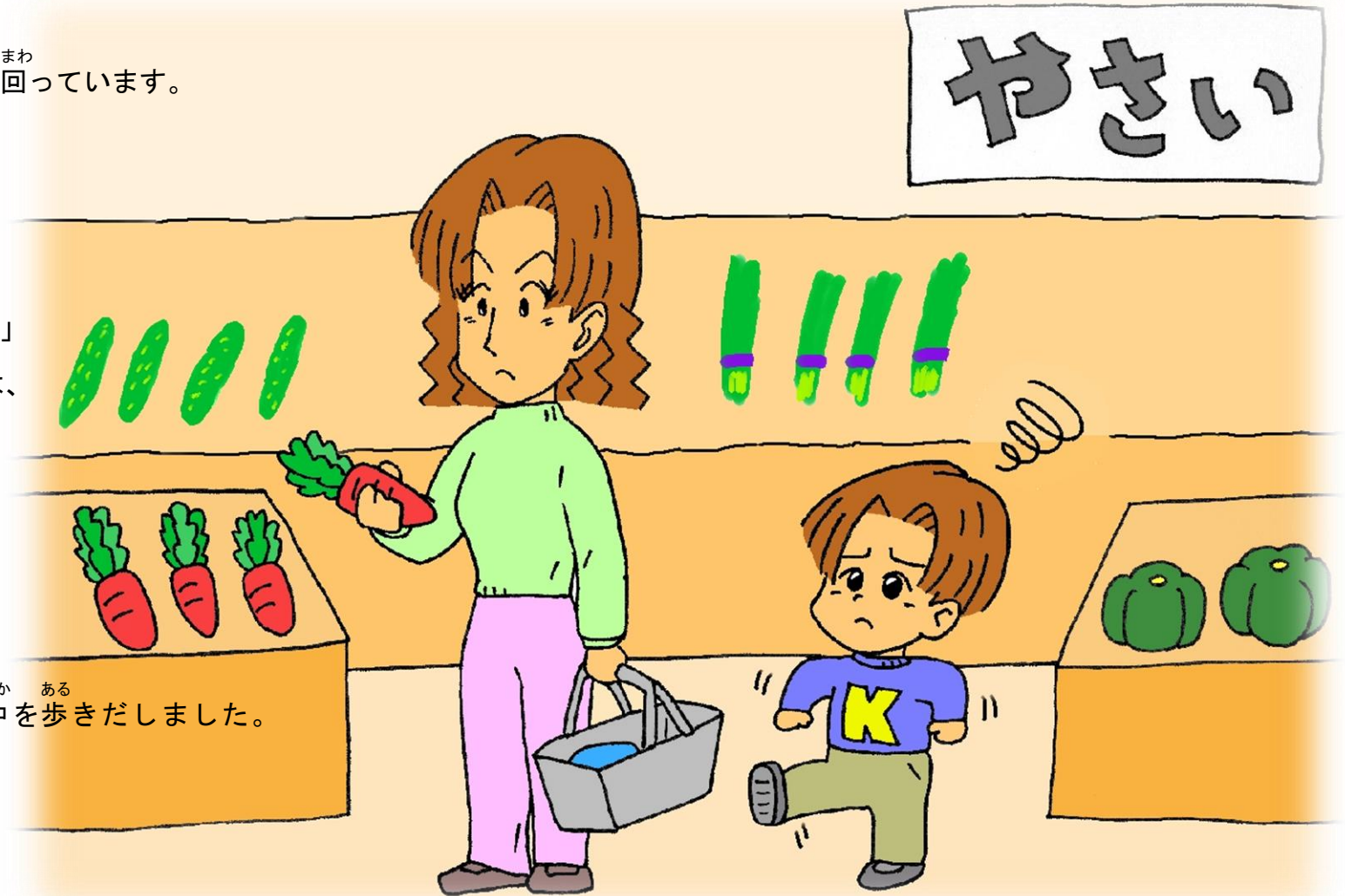
かあ か まわ
お母さんのお買い物についてあちこち回っています。

でも、けいちゃんは、だんだん^{つか}疲れて
きました。

かあ つか
「お母さん、疲れちゃったよ。まだあ？」
と、けいちゃんが聞いても、お母さんは、
「ごめんね。もう少し^{すこ}まってね。」
と^いうだけです。

あし つか ある
足は疲れたし、ついて歩くのも
あ
飽きてきたけいちゃん・・・。

かあ はな ひとり みせ なか ある
お母さんから離れて、一人でお店の中を歩きだしました。



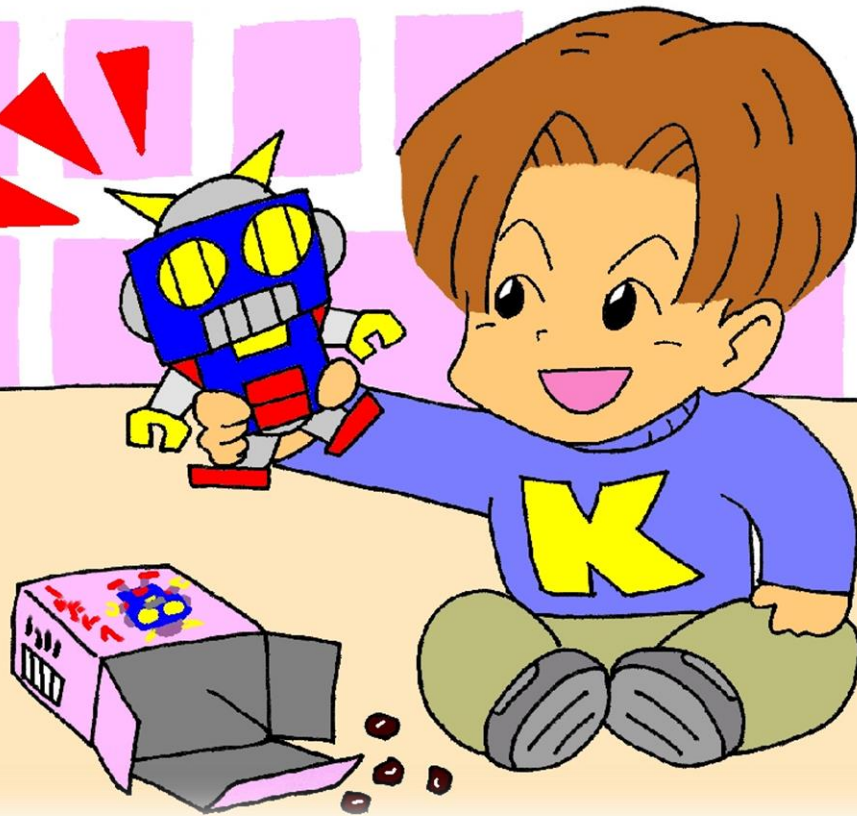
けいちゃんがお菓子売り場に行く^{かしうばい}と、大好きなレンジャーロボットの^{だいす}
ついたお菓子^{かしみ}を見つけました。

「あっ、レンジャーロボットだ。お母さん^{かあ}に買って^かもらおう。
お母さん^{かあ}、どこ^{どこ}にいるのかなあ。」

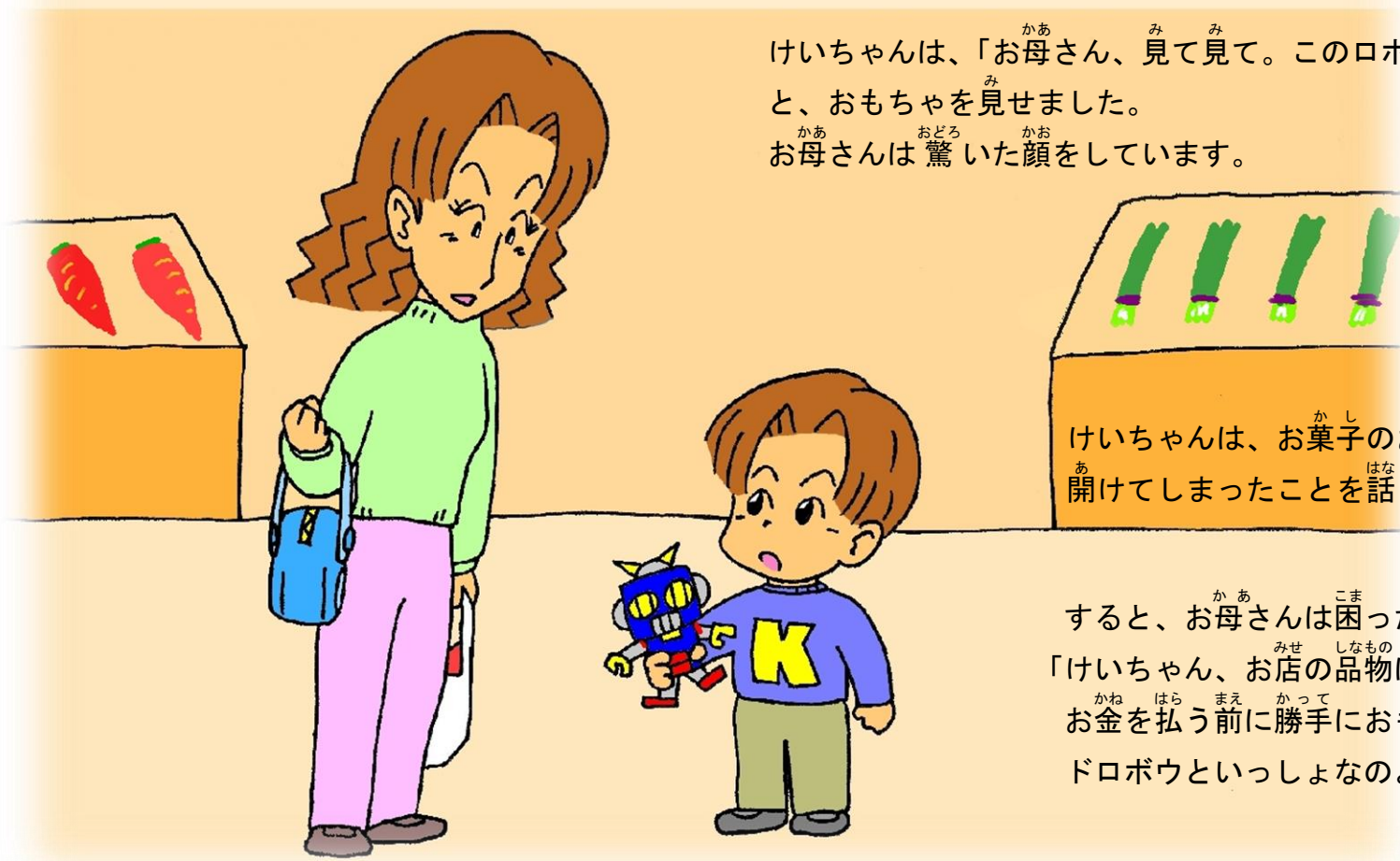
けいちゃんはお母さん^{かあ}を探^{さが}しましたが、見^みつかりません。

「いないなあ。
あと^{あと}、お母さん^{かあ}にお金^{かね}をはら^{はら}ってもらえ^えばいいから、
レンジャーロボット^{あそ}で遊^{あそ}んじやおう。」

けいちゃんは、レンジャーロボットを箱^{はこ}から出^だして
遊^{あそ}び始^{はじ}めてしまいました。



そこへ、お買い物が終わったお母さんがやってきました。



けいちゃんは、「お母さん、見て見て。このロボット、カッコいいでしょ!!!」
と、おもちゃを見せました。
お母さんは驚いた顔をしています。

けいちゃんは、お菓子のおもちゃが欲しくなって、おもちゃを
開けてしまったことを話しました。

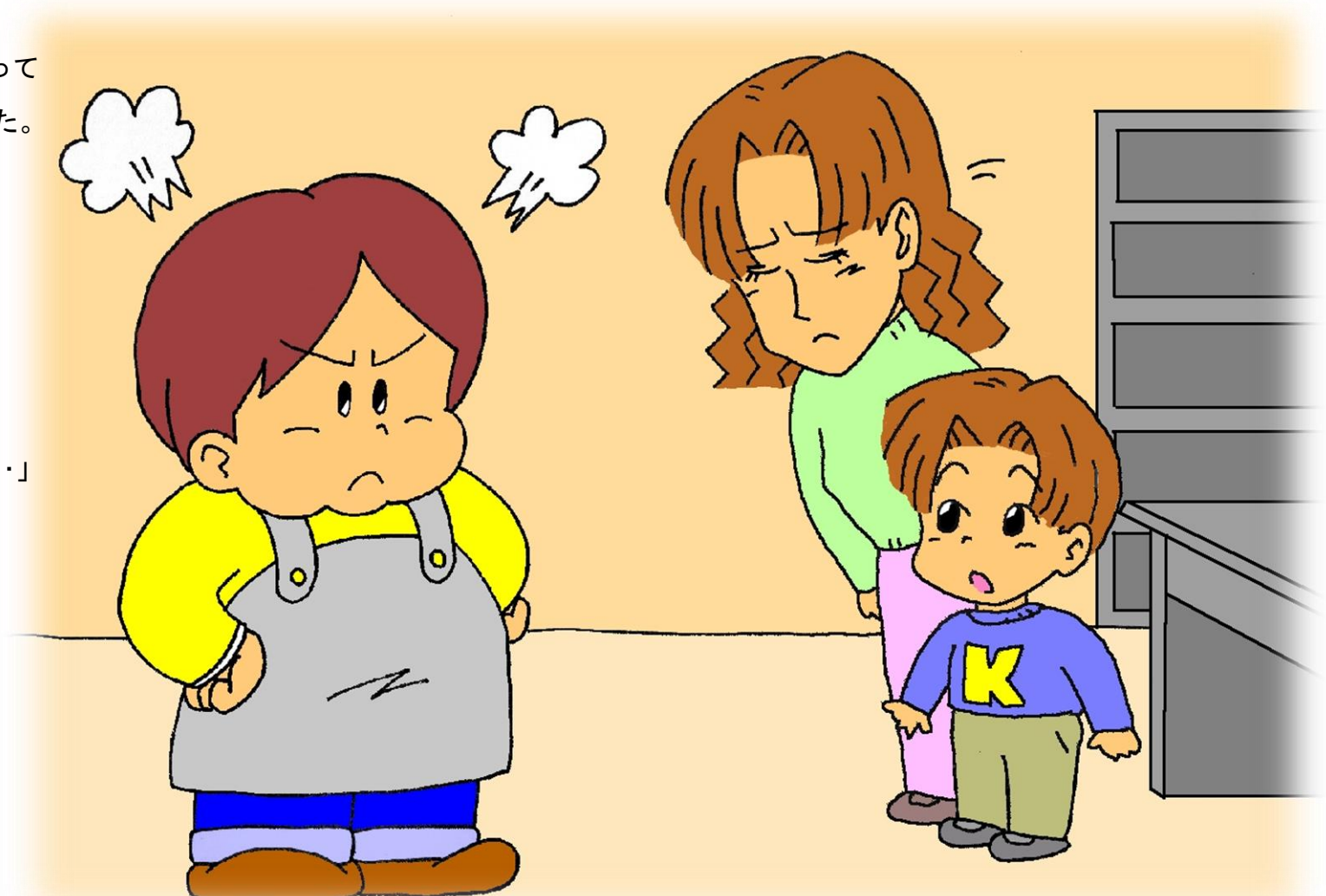
すると、お母さんは困った顔で、
「けいちゃん、お店の品物はお金を払うまではお店の物なの。
お金を払う前に勝手におもちゃを開けてしまったら
ドロボウといっしょなのよ。」と言いました。

「ぼく、大変なことしちゃった・・・。」
けいちゃんはどうしていいのか分からず、泣きそうになりました。

かあ て ひ ば
お母さんは、けいちゃんの手を引っ張って
みせ てんちよう い
お店の店長さんのところに行きました。

おこ てんちよう
そして、怒っている店長さんに
なんど あたま さ あやま
何度も頭を下げて謝りました。

けいちゃんは、
わる
「悪いことしたのは、ぼくなのに、
かあ あやま
どうして、お母さんが謝るんだろう……」
ふしぎ おも
と不思議に思いました。

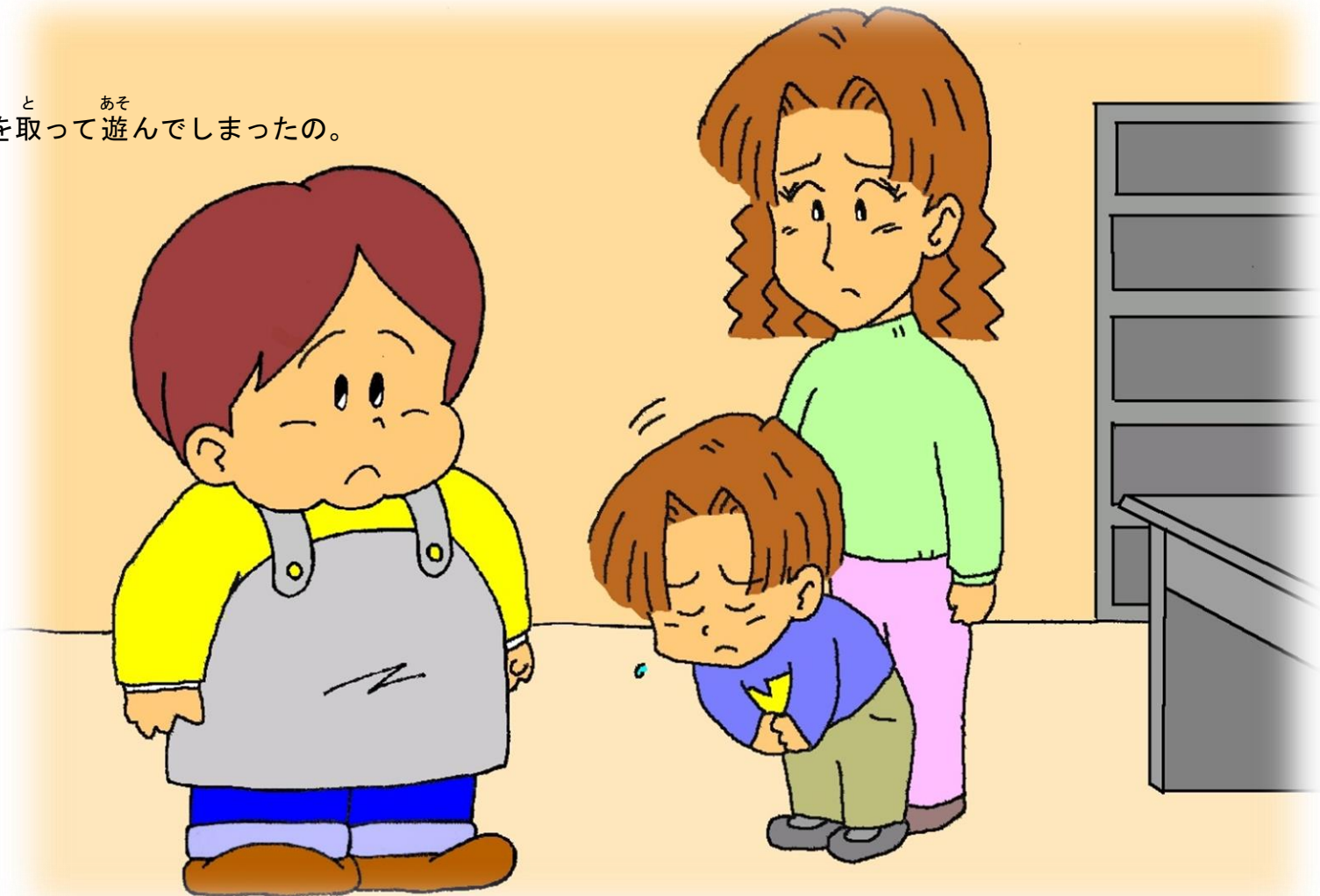


かあ はなし き てんちよう
お母さんから話を聞いた店長は、

みせ しなもの たいせつ か し かね はら かって も い
「お店にある品物は、どれも大切なものなんだよ。お菓子についてるおもちゃでも、お金を払わないで勝手に持って行ってしまうたら、
みせ ひと こま
お店の人みんなが困るんだよ。」
おし
と教えてくれました。

しょんぼりしている けいちゃんの様子を見たお母さんは、
「けいちゃん、悪いことをした時は、きちんとあやまろうね。」
と、優しい声で言いました。

「ぼく、お金をはらわないで、おもちゃを取って遊んでしまったの。
ごめんなさい。もうしません。」
と一生懸命 あやま 謝りました。





すると、店長は、
「欲しくてもがまんすることもたいせつだよ。
でもね、きちんと謝^{あやま}れてえらかったね。」
とやさしくけいちゃんの頭^{あたま}をなでてくれました。

そして、けいちゃんはお母さんと

⓪ わるいかかんが悪いか かんが考えます

① ひとやなことを人にしません

② おとな はなまったら大人に話します

やくそくというお約束をしました。

次の日も、けいちゃんとお母さんは
いっしょ か もの き一緒にお買い物に来ました。

きょう よる今日の夜ごはんは、なんだろうね。

